

教育目標

【自分づくり】社会に目を開き 「なりたい自分」の姿を描き 実現しようとする人

- 自ら考え、表現できる人（創造）
- 仲間とともに高め合える人（共生）
- 心身ともにたくましい人（健康）

学校だより 第28号

ひらく

平成28年12月22日発行
須賀川市立第三中学校
TEL 73-2377
発行責任者：校長 高崎則行

スポーツに求められる**インテグリティ**と、**陰徳を積む**という態度



11月に開催された学校保健安全研究大会で、スポーツ庁国際課の星 香里（ほしかおり）氏の講演を拝聴（はいちょう）しました。学校教育でもスポーツの価値を基盤にした教育をいっそう重視していく、裏返すと、スポーツの価値を貶（おとし）める行為（ドーピング、賭（か）けなどの不正行為）をしない・許さない態度を育てていくという内容でした。

その話の中で出てきたのが「インテグリティintegrity」という概念（がいねん）です。辞書的には、Integrity＝（堅固（けんこ）な）正直さ、誠実、高潔、清廉（せいれん）、基準、規範、完全、無傷・・・とあり、日本語にはぴったり当てはまる訳語がないようです。



WADA（世界アンチ・ドーピング機関）のグレイグ・リーディー会長は、「インテグリティとは、正しいことを人が見ていないところで続けることだ。」と言ったそうです。だとすれば、それは中国の故事にある「陰徳（いんとく）」という概念に非常に近いものではないかと、私は考えました。



「陰徳」とは、人知れず行われる立派な行いのことです。「陰徳を積む」、「陰徳あれば陽報（ようほう）あり（人知れずよい行いをすれば必ずよい結果が現われてくる）」とも使われます。例えば、人が見ているからお年寄りに手を貸すというのであれば、何か感謝されたり認められたりすることを期待してのことかもしれません。しかし、人が見ていなくても、認められようが認められまいが、ただひたすら

よいと信じることを行うことは、純粹に人としてよりよく生きようという姿勢の表れなのではないでしょうか。

何も特別なことでなくてもよいのです。朝自分で起きる、家族と一緒に食事をする、毎日お風呂掃除をする、誰に対しても心のこもったあいさつをする、お年寄りや小さい子どもをいたわる……。こういう当たり前のことが継続できれば、それが「陰徳を積む」ことになるのです。どんなときでも実行できるということが立派なことなのです。

「陰徳」は仏教でも使われるようです。私たち教員にはデリケートな問題もありますから、どうするか迷ったりためらったりしたとき、私は「お天道様（おてんとさま）が見てござる」と心の中でつぶやいてみるのです。

今年最後の学校だよりです。皆様、よいお年をお迎えください。



◇ ◇ ◇ 各種表彰の記録 ◇ ◇ ◇

12月5日（月）の全校集会で表彰状を伝達しました。非常に大勢だったので、ここで一気に紹介します。

県中地区中学生新人バドミントン大会

男子個人ダブルス

第2位 吉田大晟（だいせい）・鈴木優之介ペア

Sリーグ須賀川・岩瀬予選ソフトテニス大会

女子1部 第2位 須賀川三中A

同 第3位 須賀川三中B

須賀川市市民体育祭バレーボール競技

中学生女子の部

第2位

大東中・鏡石中・須三中連合チーム

第3位 須賀川三中A

Sリーグ県南地区選抜ソフトテニス大会

女子1部 第2位

福島県中学校体重別柔道選手権大会

男子個人 第1位 増賀 由輝(よしき) ③

県南中学生新人卓球大会

男子団体 第5位

須賀川市民体育祭サッカー競技

中学生大会の部 第3位

小倉百人一首かるた競技大会イン会津

D級 準優勝 久保木知歩(ちほ) ②

奨励賞 五十嵐 結(ゆい) ①

E級 優勝 大槻 未来(みらい) ②

第3位 山田 綾乃(あやの) ①

F級 準優勝 鈴木 眞優(まゆ) ①

岩瀬地区小中学校音楽祭・第3部創作

B課題 金賞 松谷 美萌(みも) ③

青少年読書感想文福島県コンクール

入選 高橋 愛奈(あいな) ②

岩瀬地区書写コンクール

推薦 五十嵐 結①

小林あかり①

小林 未奈(みな) ①

須藤 雄哉(すとう・ゆうや) ②

西牧 美渚(みいな) ③

村越 愛希(あき) ③



中学生作文コンクール

都道府県特別賞 佐久間 蓮(れん) ②

歯科衛生図画・作文コンクール

ポスターの部 優秀賞 永嶋 綾花(あやか) ②

明るい社会づくり作文コンクール

地区協議会長賞 佐藤 明莉(あかり) ②

入選 松谷 美萌③ 吉田 真大(まひろ) ③

永嶋 綾花② 水野 亮②

菊田 茉菜(まな)② 倉持 奈央(なお)②

曾我 瑠唯(るい)① 吉田 葵①

交通安全ポスターコンクール

佳作 古川 輝(ひかる)① 芳賀 美紅(みく)①

火災予防絵画・ポスターコンクール

入選 高橋 愛奈②

佐藤 明莉②

関根 蓮(れん) ②

倉持 奈央②

名越 優菜(ゆうな) ②

須賀川市文化祭文芸大会

秀逸 込山 詩乃(しの) ③

天倉 朋貴(ともき) ③

佳作 五十嵐美里③

曾我 瑠唯①

(注) ○に数字は学年です。



学校評価アンケートへのご協力に関する御礼とお詫び

11月22日締め切りでお願いした「中学校教育に関するアンケート」へのご協力、誠にありがとうございました。数値の集計も、ご意見の記述の整理も終え、今後の学校運営や教育活動の反省・改善に生かすべく、職員会議等で検討しているところです。

さて、企業のお客様相談室が社長直轄(ちよつかつ)であるように、地域や保護者の皆様からの意見・要望については全て校長に報告させ、私の責任で対応したいと考えております。当然、ご意見の趣旨に沿って対応できることと、対応できないことがございます。どちらについても必ず返答してまいりの方針であります。しかし、今回のアンケートの記述に「夏ごろ、生徒の行為について指導をお願いしたにもかかわらず、何のリアクションもなかった。」というご意見を頂戴しました。確かに、指導が滞(とどこお)ってしまいました。私の責任です。このような思いを抱かせてしまったことに深くお詫び申し上げます。

ご意見をいただいた方には返答することを原則に、お名前をお伝えいただいた場合には、担当者から返答するようにしています。また、匿名(とくめい)であった場合でも、この学校だよりなどを通じて発信するなどの方法をとりたいと考えます。ただし、プライバシーや教育活動への影響に配慮すべき内容であった場合など、広く発信することが適当でないこともありますのでご了承ください。

皆様からのご意見・ご要望には、対応できる、対応できないにかかわらず誠実に向き合っています。返答が遅いなど、ご不審に感じられた場合には、面倒でも重ねてご連絡をいただきますようお願いいたします。

本校ホームページでもご覧いただけます。アドレス http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=196